

事務事業名	オリンピック開催準備関係費										担当課	部課名	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	5311

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	本市江の島における東京2020オリンピック競技大会セーリング競技の開催に伴い、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進するため、気運醸成事業やボランティア関連事業の実施、開催準備に係る関係機関との協議・調整等を行う。						
事業目的及び必要性	東京2020オリンピック競技大会セーリング競技の開催会場自治体として、開催準備にかかる業務を適切に行うとともに、多くの市民に楽しく関わっていただき、喜びや感動を分かち合える市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現することで、地域と市民が元気になることを目指す。						
対象	1. 個人	市民				438,968 人	
根拠法令等							

藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)

まちづくりコンセプト		重点施策名
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input checked="" type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) 大会を契機として、市民参加の推進を図るとともに多様な主体による自発的な活動を展開し、レガシーの創出を通じて地域と市民が元気になることを目指す取組である。	市民参加型東京2020大会のレガシー創出	
		指針体系コード
		5-5-11
2030年又は事業終了時の望ましい姿		その他の計画との関連
大会を契機としたボランティア等の市民参加の取組やスポーツを通じた取組が、後世に引き継がれるレガシーとして、新たな地域の活力となる。		「生涯学習ふじさわプラン2021」「スポーツ推進計画:みらいふじさわスポーツ元気プラン」「藤沢市文化芸術振興計画」
		貢献する主なSDGsのゴール
		5 ジェンダー平等を実現しよう
		10 人や国の不平等をなくそう
		17 パートナーシップで目標を達成しよう

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
スポーツ活動が充実していると感じますか?	2.97 点	2.96 点	2.86 点	2.91 点
ボランティアなどの活動が積極的に行われていると感じますか?	2.81 点	2.78 点	2.88 点	2.73 点

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	需用費	940 千円	啓発用物品・消耗品ほか
	役務費	1,570 千円	商店街フラッグ・庁舎装飾撤去作業ほか
	委託料	81,822 千円	ボランティア関連業務、記録コンテンツ制作業務ほか
86,602 千円	負担金補助及び交付金	1,146 千円	麻しん・風しん予防接種費用助成
	その他	1,124 千円	報償費、旅費、使用料及び賃借料
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	事業終了		
	— 千円		

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	13.00人工	14.00人工	12.00人工	7.25人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	0.00人工	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	2.00人工	3.00人工		
合計	15.00人工	17.00人工	12.00人工	7.25人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			6.00人	4.25人
---------------	--	--	-------	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	1 大会盛り上げと選手関係者へのおもてなし フラワーレーンプロジェクトへの参加 市立小学校児童約400人、江の島ヨット音頭等の披露 参加者約200人 2 ボランティア・市民参加に関する取組 シティキャストフジサワによる選手関係者の出迎え活動 参加者239人、SNS動画配信活動 参加者200人、 ボランティアレガシー「チームFUJISAWA2020」の始動 登録者数(個人)554人 ※令和3年度末時点 3 大会後の取組 アスリート報告会(オンラインイベント)視聴者約1,000人、記録映像及び記録集の制作・公開						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果目標	大会関連事業の参加者数	人	2,500	5,000	7,000	9,000	オンライン参加含む
	大会関連動画の再生回数	回	-	-	10,000	10,000	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	大会関連事業の実施事業数	回	40	43	12	14	
大会関連動画配信数	本	-	-	30	16		
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	大会関連事業の参加者数	人	2,707	5,537	7,058	9,641	オンライン参加含む
大会関連動画の再生回数	回	-	-	10,169	10,652		
数値で表せない効果 大会気運の盛り上がり、市民参加の推進による郷土愛の醸成							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
コスト	行政費用(フルコスト) A	204,823	245,207	244,524	153,813					
	(1)現金を伴う支出 (千円)	193,744	242,073	250,612	168,137					
	事業費(支出済額)	63,408	97,841	121,283	86,602					
	償還金利息	0	0	0	0					
	人件費合計(①+②+③)	130,336	144,232	129,329	81,535					
	①常時勤務職員等の給与等	119,171	127,974	108,180	66,920					
	②会計年度任用職員の報酬等	5,066	8,171	14,656	11,585					
	③退職金相当額	6,099	8,087	6,493	3,030					
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	11,079	3,134	-6,088	-14,324					
	①減価償却費	0	0	0	0					
	②退職給与引当金繰入額	11,079	3,134	-6,088	-14,324					
	③不納欠損額	0	0	0	0					
	④その他( )	0	0	0	0					
	行政収益(事業収入) B	14,484	13,713	12,832	21,678					
(3)現金を伴う収入 (千円)	14,484	13,713	12,832	21,678						
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0						
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0						
③国庫支出金	0	0	0	0						
④県支出金	14,484	13,713	12,832	21,678						
⑤その他( )	0	0	0	0						
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0						
収入未済増減額	0	0	0	0						
収支差額(純費用)A-B E	190,339	231,494	231,692	132,135						
分析指標	項目	大会関連事業の参加者数 F	2,707	5,537	7,058	9,641				
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		75,664.20	44,285.17	34,644.94	15,954.04				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		443.35	429,317	534.55	433,060	532.48	435,121	301.01	438,968
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症が収束しない中での大会準備・運営
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により、セーリング競技が無観客開催となったほか、本市主体の大会関連イベント等も中止や縮小を余儀なくされたが、市内19の関係団体で構成する「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」や市民と連携して創意工夫を図り、気運の盛り上げと選手関係者へのおもてなし等を行った。
(3) 令和3年度末時点の課題	大会を通じて培った様々な経験を、本市における様々な施策に生かしていく必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	スポーツ都市宣言に基づくスポーツ施策の推進や、チームFUJISAWA2020によるボランティア活動の推進に取り組む。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア＝法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ＝市の条例等で規定されている事業 ウ＝県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ＝国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ＝法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア＝国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ＝国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ＝国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの <input type="radio"/> エ＝本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ＝本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア＝恒久的に実施するもの イ＝年限の定めのないもの ウ＝時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ＝時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの <input type="radio"/> オ＝時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<input type="radio"/> ア＝300,000千円以上 イ＝100,000千円以上～300,000千円未満 <input type="radio"/> ウ＝30,000千円以上～100,000千円未満 エ＝5,000千円以上～30,000千円未満 オ＝5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア＝80%以上 <input type="radio"/> イ＝50～80%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝10～30%未満 オ＝10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア＝10%未満 イ＝10～30%未満 <input type="radio"/> ウ＝30～50%未満 エ＝50～80%未満 オ＝80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
1. 市民等サービス	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、大会史上初の1年延期を経て2021年夏に開催された。	
他市等の事例		
市民ニーズ	把握方法	
	把握内容	
	対応等	

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルスの感染拡大が続く中での大会開催となり、本市主体の各種事業も中止や縮小となったが、市民や関係団体との連携により、安全安心を確保しながら気運の盛り上げと選手関係者のおもてなしを行い、開催会場自治体としての役割を果たした。また、シティキャストフジサワなどの取組を通じて、多様な主体による自発的な活動を展開し、市民参加型の大会実現とレガシー創出を図った。	
今後の方針	まちづくりテーマ	⑤ 未来を見据えてみんなではじめる
	事業の方向性	休止・廃止・完了
	大会終了に伴い事業完了となるが、今大会のレガシーである「スポーツ都市宣言」や「チームFUJISAWA2020」をはじめ大会を通じて培った経験を、本市における新たな活力として次世代へ引き継いでいく。	

9. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	オリンピック開催準備関係費(繰越分)										担当課	部課名	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	横田 隆一	電話	5311

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	本市江の島における東京2020オリンピック競技大会セーリング競技の開催に伴い、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進するため、大会の気運を高めるシティドレッシング(都市装飾)や、会場外での競技放映等の場を提供するライブサイト、本市がホスタウンとなっている3か国の事前キャンプ受入れを行う。						
事業目的及び必要性	東京2020オリンピック競技大会セーリング競技の開催会場自治体として、開催準備にかかる業務を適切に行うとともに、多くの市民に楽しく関わっていただき、喜びや感動を分かち合える市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現することで、地域と市民が元気になることを目指す。						
対象	1. 個人	市民				438,968	人
根拠法令等							

藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)

まちづくりコンセプト		重点施策名	
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input checked="" type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) 大会を契機として、市民参加の推進を図るとともに多様な主体による自発的な活動を展開し、レガシーの創出を通じて地域と市民が元気になることを目指す取組である。		市民参加型東京2020大会のレガシー創出	
		指針体系コード	
		5-5-11	
2030年又は事業終了時の望ましい姿		その他の計画との関連	
大会を契機としたボランティア等の市民参加の取組やスポーツを通じた取組が、後世に引き継がれるレガシーとして、新たな地域の活力となる。		「生涯学習ふじさわプラン2021」「スポーツ推進計画:みらいふじさわスポーツ元気プラン」「藤沢市文化芸術振興計画」	
		貢献する主なSDGsのゴール	
		5 ジェンダー平等を実現しよう	
		10 人や国の不平等をなくそう	
		17 パートナーシップで目標を達成しよう	

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
スポーツ活動が充実していると感じますか?	2.97 点	2.96 点	2.86 点	2.91 点
ボランティアなどの活動が積極的に行われていると感じますか?	2.81 点	2.78 点	2.88 点	2.73 点

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
176,785 千円	委託料	176,785 千円	シティドレッシング、ライブサイト、事前キャンプ受入れ
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
— 千円	事業終了		

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	-	-	0.50人工	2.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	-	-	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	-	-		
合計	0.00人工	0.00人工	0.50人工	2.00人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
会計年度任用職員(配置数)			0.00人	0.75人

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	1 シティドレッシング(都市装飾) 装飾実施箇所: 競技会場周辺、藤沢・辻堂・湘南台・善行各駅周辺 2 事前キャンプ受入れ 選手関係者の受入れ人数: エルサルバドル10人、エジプト19人、ポルトガル69人 3 ライブサイトの中止に伴うセーリング競技のライブ配信にあわせたレース模様の発信 ツイッターフォロワー数1,347人 期間中ツイート数1,032回						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果目標	大会関連事業の参加者数	人	2,500	5,000	7,000	9,000	オンライン参加含む
	大会関連動画の再生回数	回	-	-	10,000	10,000	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	大会関連事業の実施事業数	回	40	43	12	14	
大会関連動画配信数	本	-	-	30	16		
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	大会関連事業の参加者数	人	2,707	5,537	7,058	9,641	オンライン参加含む
大会関連動画の再生回数	回	-	-	10,169	10,652		
数値で表せない効果 市民参加の推進による地域の魅力向上、郷土愛の醸成							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	0	16,369	203,390	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	14,860	198,862	
	事業費(支出済額)			10,081	176,785	
	償還金利息			0	0	
	人件費合計(①+②+③)	0	0	4,779	22,077	
	①常時勤務職員等の給与等			4,508	18,461	
	②会計年度任用職員の報酬等			0	2,781	
	③退職金相当額			271	836	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	1,509	4,527	
	①減価償却費			0	0	
	②退職給与引当金繰入額			1,509	4,527	
	③不納欠損額			0	0	
	④その他( )			0	0	
	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0	
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0		
①分担金及び負担金 c			0	0		
②使用料及び手数料 d			0	0		
③国庫支出金			0	0		
④県支出金			0	0		
⑤その他( )			0	0		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額			0	0		
収支差額(純費用)A-B E	0	0	16,369	203,390		
分析指標	項目	大会関連事業の参加者数 F	2,707	5,537	7,058	9,641
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		0.00	0.00	2,319.21	21,096.33
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		0.00 429,317	0.00 433,060	37.62 435,121	463.34 438,968
	受益者負担率 (C+D)/A (%)			-	0.00	0.00

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	特になし
(3) 令和3年度末時点の課題	特になし
(4) (3)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア＝法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ＝市の条例等で規定されている事業 ウ＝県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ＝国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ＝法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア＝国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ＝国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ＝国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの <input type="radio"/> エ＝本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ＝本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア＝恒久的に実施するもの イ＝年限の定めのないもの ウ＝時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ＝時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの <input type="radio"/> オ＝時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<input type="radio"/> ア＝300,000千円以上 <input type="radio"/> イ＝100,000千円以上～300,000千円未満 ウ＝30,000千円以上～100,000千円未満 エ＝5,000千円以上～30,000千円未満 オ＝5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア＝80%以上 イ＝50～80%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝10～30%未満 オ＝10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア＝10%未満 <input type="radio"/> イ＝10～30%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝50～80%未満 オ＝80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
1. 市民等サービス	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、大会史上初の1年延期を経て2021年夏に開催された。	
	他市等の事例	
市民ニーズ	把握方法	
	把握内容	
	対応等	

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルスの感染拡大が続く中での大会開催となり、本市主体の各種事業も中止や縮小となったが、市民や関係団体との連携により、安全安心を確保しながら気運の盛り上げと選手関係者のおもてなしを行い、開催会場自治体としての役割を果たした。	
	まちづくりテーマ	⑤ 未来を見据えてみんなではじめる
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	大会終了に伴い事業完了となるが、今大会のレガシーである「スポーツ都市宣言」や「チームFUJISAWA2020」をはじめ大会を通じて培った経験を、本市における新たな活力として次世代へ引き継いでいく。	

9. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	板垣 朋彦	確認日	2022/9/2
----	-------	----	-------	-----	----------